

平成25年度実施施策に係る事前分析表

(環境省25-38)

| 施策名 | 目標8-4 環境教育・環境学習の推進 | | | | 担当部局名 | 環境教育推進室 | 作成責任者名 (※記入は任意) | | | |
|---|--|------|----------------------------|------------|---|---|--------------------|---------|---|----------------------------|
| 施策の概要 | 国民、民間団体、事業者、地方公共団体、国等の、様々な主体による協働取組を通して、学校・家庭・地域等において生涯にわたる質の高い環境教育の機会を提供していくため、環境教育・環境学習に関する各種施策を総合的に推進していく。 | | | | 政策体系上の位置付け | 8. 環境・経済・社会の統合的向上 | | | | |
| 達成すべき目標 | 「持続可能な開発のための教育(以下、ESD)」活動の参画促進や活性化を促すとともに、国連大学の「ESDの地域拠点(以下、RCE)」づくり等の事業を支援することで持続可能な社会づくりの担い手育成を図る。また、企業が行う社員向け環境教育の強化や教職員及び地域の環境活動リーダーによる地域の学校教育の支援、大学生等将来の環境教育の担い手育成を図るほか、東日本大震災の経験と新たなESDの取組などを世界へ発信することで環境教育・環境保全活動の底上げを図る。 | | | | 目標設定の考え方・根拠 | <ul style="list-style-type: none"> 第4次環境基本計画(第1部第2章、第2部第1章他) 環境教育等による環境保全の取組に関する法律(第3章他) 「持続可能な開発のための教育の10年」実施計画(第4章他) | 政策評価実施 予定時期 | 平成26年6月 | | |
| 測定指標 | 基準値 | | 目標値 | 年度ごとの目標値 | | | | | 測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠 | |
| | 基準年度 | 目標年度 | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | |
| 1 環境教育等促進法第8条の1に基づく各都道府県及び政令指定都市において作成する行動計画数 | - | - | - | - | - | - | - | - | ESDの推進や環境教育及び環境保全活動の促進の成果とする統一的な指標が存在しないことから、環境教育等促進法第8条の1に基づく各都道府県及び政令指定都市において作成する行動計画数を指標とするが、行動計画の多寡のみで成果を表すことは適当でなく、目標値は設定できない。 | |
| 達成手段 (開始年度) | 補正後予算額(執行額) (百万円) | | 25年度 当初 予算額 (百万円) | 関連する 指標 | 達成手段の概要等 | | | | | 平成25年度 行政事業レビュー 事業番号 |
| | 23年度 | 24年度 | | | | | | | | |
| (1) 環境教育強化総合事業 (平成25年度) | 179 (172) | 102 | 102 | 1 | ESD活動の活性化や促進のための施策の推進、企業が行う環境保全活動及び社員向け環境教育への支援、教職員や地域の環境活動リーダーへの環境教育研修、大学生等将来の環境教育の担い手育成、環境カウンセラー登録制度を活用した市民団体等への助言・指導等、総合的な施策を展開することで持続可能な社会づくりを環境教育の面から推進する。 | | | | | 296 |
| (2) 大震災の経験を踏まえた持続可能な社会づくり事業(平成24年度) | - | 68 | 21 | 1 | 東日本大震災の経験を踏まえ、新たなESDの取組などを世界へ発信することで環境教育・環境保全活動の促進を図る。 | | | | | 297 |
| (3) 地域活性化を担う人材育成事業(平成25年度) | - | - | 183 | 1 | ESDに促った小中学生向け環境教育プログラムの作成、教職員NPO、事業者、行政等によるワークショップの開催を通じたプログラムの検証や理解の深化、出前授業等を活用した教育現場等での実証の実施により、持続可能な社会を担う人材を育成する。 | | | | | 新25-030 |
| (4) 環境教育推進事業 (平成25年度) | - | 7 | 5 | 1 | 環境カウンセラーに対して環境分野の最新の情報や技術に関する研修を実施し、その活動を支援することで、市民活動や事業者に対する環境保全活動等に対する適切な助言活動等を行い、地域の環境保全活動の促進を図る。 | | | | | 296 |
| (5) 国連大学拠出金 (平成18年度) | 160 (160) | 160 | 160 | 1 | 国連大学が進めるRCE事業の支援やProSPER.Netの強化事業に対して拠出協力することで、世界規模でのESD推進を図り、国際社会への貢献を果たす。 | | | | | 295 |